【資料】



平成31年度当初予算の概要

/ 予算総括表(歳 入)	1
(歳 出)	3
特別会計及び企業会計	5
当初予算の概要	7
大綱別重点項目	15
総合戦略事業	19

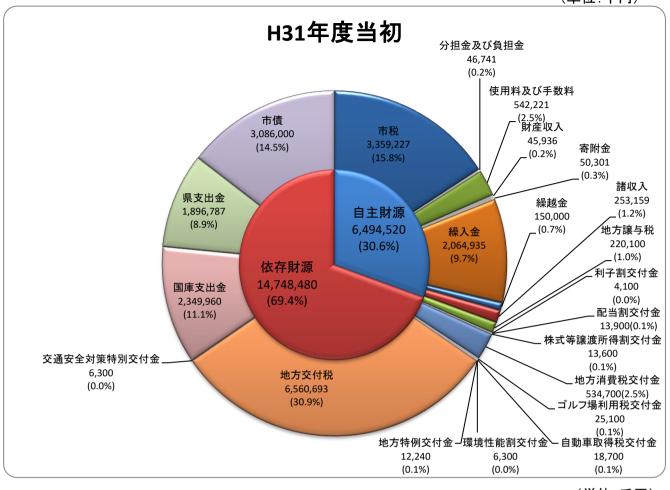
阿波市財政課

平成31年度一般会計当初予算(案)総括表

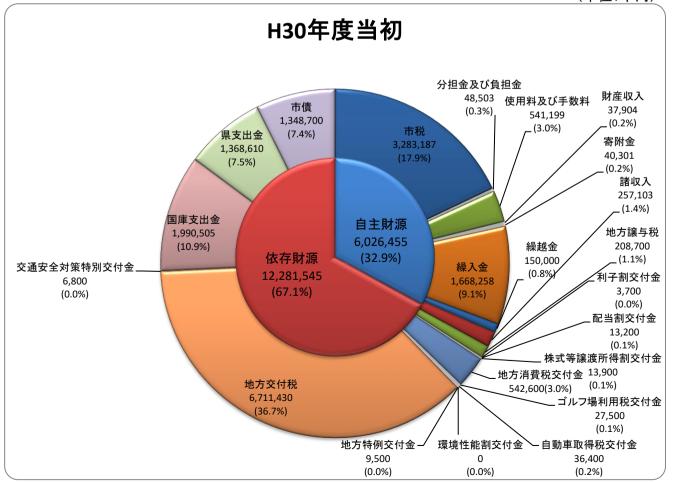
<u>1. 款別歳入の内訳</u> (単位:千円、%)

		平成31年度 分 款 別		平成30年	度	前年度との	比較
区分	叔 別	予算額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増減率
	市税	3,359,227	15.8	3,283,187	17.9	76,040	2.3
	分担金及び負担金	46,741	0.2	48,503	0.3	△ 1,762	△ 3.6
	使 用 料	457,752	2.2	472,975	2.6	△ 15,223	△ 3.2
自	手 数 料	66,469	0.3	68,224	0.4	△ 1,755	△ 2.6
主	財 産 収 入	45,936	0.2	37,904	0.2	8,032	21.2
財	寄 附 金	50,301	0.3	40,301	0.2	10,000	24.8
源	繰 入 金	2,064,935	9.7	1,668,258	9.1	396,677	23.8
	繰 越 金	150,000	0.7	150,000	0.8	0	0.0
	諸 収 入	253,159	1.2	257,103	1.4	△ 3,944	△ 1.5
	小 計	6,494,520	30.6	6,026,455	32.9	468,065	7.8
	地 方 譲 与 税	220,100	1.0	208,700	1.1	11,400	5.5
	利 子 割 交 付 金	4,100	0.0	3,700	0.0	400	10.8
	配 当 割 交 付 金	13,900	0.1	13,200	0.1	700	5.3
	株式等譲渡所得割交付金	13,600	0.1	13,900	0.1	△ 300	△ 2.2
	地方消費税交付金	534,700	2.5	542,600	3.0	△ 7,900	△ 1.5
	ゴルフ場利用税交付金	25,100	0.1	27,500	0.1	△ 2,400	△ 8.7
依	自動車取得税交付金	18,700	0.1	36,400	0.2	△ 17,700	△ 48.6
存	環境性能割交付金	6,300	0.0	0	0.0	6,300	皆増
財	地方特例交付金	12,240	0.1	9,500	0.0	2,740	28.8
	地 方 交 付 税	6,560,693	30.9	6,711,430	36.7	△ 150,737	△ 2.2
源	普 通 交 付 税	6,160,693	29.0	6,401,430	35.0	△ 240,737	△ 3.8
	特 別 交 付 税	400,000	1.9	310,000	1.7	90,000	29.0
	交通安全対策特別交付金	6,300	0.0	6,800	0.0	△ 500	△ 7.4
	国 庫 支 出 金	2,349,960	11.1	1,990,505	10.9	359,455	18.1
	県 支 出 金	1,896,787	8.9	1,368,610	7.5	528,177	38.6
	市 債	3,086,000	14.5	1,348,700	7.4	1,737,300	128.8
	小 計	14,748,480	69.4	12,281,545	67.1	2,466,935	20.1
	合 計	21,243,000	100.0	18,308,000	100.0	2,935,000	16.0

(歳**入**) (単位:千円)



(単位:千円)



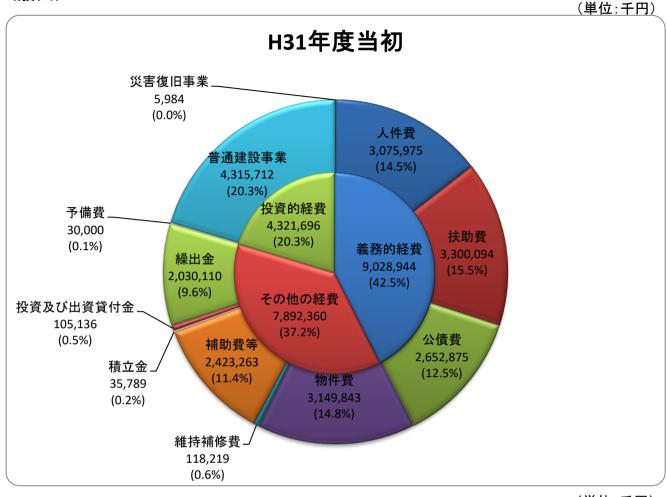
平成31年度一般会計当初予算(案)総括表

1. 性質別歳出の内訳

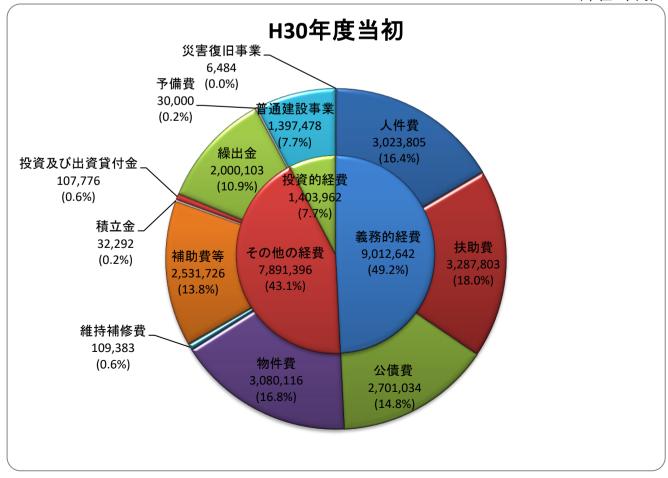
(単位:千円、%)

性質	区分	平成31年月	度	平成30年	度	前年度との	比較
正具	<u> </u>	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増減率
	人 件 費	3,075,975	14.5	3,023,805	16.4	52,170	1.7
義務的経費	扶 助 費	3,300,094	15.5	3,287,803	18.0	12,291	0.4
経費	公 債 費	2,652,875	12.5	2,701,034	14.8	△ 48,159	Δ 1.8
	小計	9,028,944	42.5	9,012,642	49.2	16,302	0.2
	普通建設事業	4,315,712	20.3	1,397,478	7.7	2,918,234	208.8
	補助事業費	1,779,070	8.4	577,456	3.2	1,201,614	208.1
投資的経費	単独事業費	2,536,642	11.9	820,022	4.5	1,716,620	209.3
経費	災害復旧事業費	5,984	0.0	6,484	0.0	△ 500	△ 7.7
	失 業 対 策 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	4,321,696	20.3	1,403,962	7.7	2,917,734	207.8
	物件費	3,149,843	14.8	3,080,116	16.8	69,727	2.3
	維持補修費	118,219	0.6	109,383	0.6	8,836	8.1
	補助費等	2,423,263	11.4	2,531,726	13.8	Δ 108,463	△ 4.3
その	積 立 金	35,789	0.2	32,292	0.2	3,497	10.8
他の	投資及び出資貸付金	105,136	0.5	107,776	0.6	△ 2,640	△ 2.4
経費	繰 出 金	2,030,110	9.6	2,000,103	10.9	30,007	1.5
	予備費	30,000	0.1	30,000	0.2	0	0.0
	前年度繰上充用金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	7,892,360	37.2	7,891,396	43.1	964	0.0
	合 計	21,243,000	100.0	18,308,000	100.0	2,935,000	16.0

(歳出)



(単位:千円)



平成31年度一般会計当初予算(案)総括表

<u>2. 款別歳出の内訳</u> (単位:千円、%)

款别		平成31年	度	平成30年	度	前年度との比較				
	办	•	נימ		予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1	議	会	:	費	183,199	0.9	184,147	1.0	△ 948	△ 0.5
2	総	務	i	費	2,864,109	13.5	2,175,377	11.9	688,732	31.7
3	民	生		費	8,446,736	39.8	6,698,903	36.6	1,747,833	26.1
4	衛	生		費	1,872,619	8.8	1,903,690	10.4	△ 31,071	Δ 1.6
5	労	働	l	費	3,331	0.0	2,260	0.0	1,071	47.4
6	農	林水	産	業費	684,719	3.2	701,737	3.8	△ 17,018	△ 2.4
7	商	I	•	費	182,495	0.9	253,921	1.4	△ 71,426	△ 28.1
8	土	木	•	費	1,009,846	4.7	899,990	4.9	109,856	12.2
9	消	防	Ī	費	696,333	3.3	809,316	4.4	△ 112,983	△ 14.0
10	教	育	7	費	2,574,965	12.1	1,908,849	10.4	666,116	34.9
11	災	害復	. IE	費	5,984	0.0	6,484	0.0	△ 500	△ 7.7
12	公	債	Ī	費	2,652,875	12.5	2,701,034	14.8	△ 48,159	Δ 1.8
13	諸	支	出	金	35,789	0.2	32,292	0.2	3,497	10.8
14	予	備	İ	費	30,000	0.1	30,000	0.2	0	0.0
		合計		-	21,243,000	100.0	18,308,000	100.0	2,935,000	16.0

平成31年度特別会計当初予算(案)総括表

(単位:千円、%)

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平成 : 区 分		平成31年度	平成30年度	前年度との	比較
		ת	予算額	予算額	増 減 額	増減率
1	御 所 財	産 区	17,017	16,767	250	1.5
2	国 民 健 康	保 険	4,512,276	4,514,613	△ 2,337	Δ 0.1
3	後期高齢	者 医 療	491,210	506,278	△ 15,068	△ 3.0
4	農業集落排	水事業	181,757	156,580	25,177	16.1
5	住宅新築資金等	貸付事業	761	1,921	△ 1,160	△ 60.4
6	介 護	保 険	4,445,794	4,411,697	34,097	0.8
7	伊沢谷簡易水	k 道 事 業		4,592	△ 4,592	皆減
	合 i	計	9,648,815	9,612,448	36,367	0.4

【水道事業会計】

収益的収支 (単位:千円)

収 入		支 出			
1. 営業収益	644, 636	1. 営業費用	595, 747		
(1)給水収益	626, 938	(1) 原水及び浄水費	132, 150		
(2)受託工事収益	11, 300	(2)配水及び給水費	66, 280		
(3) その他営業収益	6, 398	(3)受託工事費	11, 300		
2. 営業外収益	36, 753	(4)総係費	148, 504		
(1) 受取利息及び配当金	1, 000	(5)減価償却費	234, 812		
(2)他会計負担金	1, 359	(6)資産減耗費	2, 001		
(3)長期前受金戻入	29, 492	(7) その他営業費用	700		
(4)雑収益	4, 901	2. 営業外費用	38, 881		
(5)消費税及び地方消費税還付金	1	(1)支払利息及び企業債取扱諸費	26, 830		
3. 特別利益	2	(2)消費税及び地方消費税	12, 000		
(1)過年度損益修正益	1	(3)雑支出	51		
(2) その他特別利益	1	3. 特別損失	501		
		(1)過年度損益修正損	500		
		(2) その他特別損失	1		
		4. 予備費	1, 000		
		(1)予備費	1, 000		
収入合計	681, 391	支 出 合 計	636, 129		

資本的収支 (単位:千円)

収 入		支 出	
1. 出資金	100, 000	1. 建設改良費	434, 323
(1)出資金	100, 000	(1)配水施設費	413, 521
2. 工事負担金	10, 900	(2)配水設備費	15, 001
(1)工事負担金	10, 900	(3)営業設備費	5, 801
3. 企業債	240, 000	2. 企業債償還金	86, 887
(1)企業債	240, 000	(1)企業債償還金	86, 887
収入合計	350, 900	支 出 合 計	521, 210

平成31年度当初予算の概要

日本の景気は緩やかに回復し、景気回復期間はいざなみ景気を超えて戦後最長となったと予想され、企業収益は過去最高で、GDPも名目、実質ともに過去最大規模に拡大したとされています。

一方で、地方では景気回復を感じる場面は少なく、地方自治体においては人口減少や 少子高齢化など、社会情勢の変化や複雑・多様化する行政ニーズに的確に対応する必要 があると同時に、地域の特性を活かした地域経済の活性化に取り組み、「活力にあふれ、 にぎわいのあるまちづくり」を進めていく必要があります。

そのため、平成31年度一般会計予算は、前年度比+16.0%、29億3,500万円増の過去最大となる212億4,300万円を計上いたします。

特に、主な新規事業については、次に示す「安全・安心のまちづくり」、「活力あふれるまちづくり」、「子育て応援のまちづくり」の3本柱を施策の中心に据え、取り組んでまいります。

I 安全・安心のまちづくり

近年多発する自然災害、とりわけ大規模水害や局地的豪雨に対応できる防災体制づくりを進めます。

また、子どもの犯罪被害への不安解消等の日常の生活・安全、災害時に避難所となる公共施設の整備についても積極的に取り組みます。

Ⅱ 活力あふれるまちづくり

オーダーメイド型の企業誘致や、未利用の土地・建物を活用した企業誘致による雇用促進と、本市ならではの観光・交流資源を生かした活力のあるまちづくりに努めます。

また、市外からの観光客などによる交流人口を増加させ、ハード・ソフト両面から 支援することで地域の活性化を図ります。

Ⅲ 子育て応援のまちづくり

「子育てするなら阿波市」をキャッチフレーズに、妊娠期から子育て期に至るまで 切れ目のない総合的な支援を行っていきます。

また、市内 6 幼稚園・保育所を幼保認定型こども園に衣替えするなど、多様な保育環境づくりを目指します。

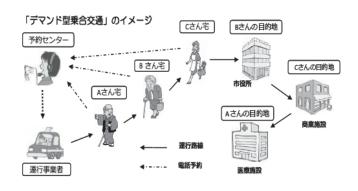
I 安全・安心のまちづくり

|☆ デマンド型乗合交通実証実験事業

実験開始

25, 355千円

広大な市域にバスが運行する路線は限られており、交通弱者と言われる方などにとって、市内移動は非常に不便な状況となっています。市民の移動ニーズに合った公共 交通の運行による公共交通空白地域を改善するため、平成31年4月から「デマンド 型乗合交通」の実証実験運行を開始します。



|☆ 防犯カメラ設置事業

新規事業

4, 587千円

近年の防犯意識の高まりから、小学校の通学路に市内で初めて「防犯カメラ」を 10台設置し、地域の見守り活動の補完と撮影による犯罪抑止効果で登下校時の児童 の安全確保を図ります。

|☆ 危険ブロック塀等安全対策支援事業

対象拡充

20,000千円

地震発生時において地域住民の避難路を確保するため、避難路沿道等に面した危険性の高いブロック塀等の除却に加え、建替え、改修を行う所有者を新たに対象とし、 経費の一部を助成します。

新規事業

57,000千円

|☆ 高性能排水ポンプ車整備事業

平成30年7月に発生した「西日本豪雨」を教訓に、台風や集中豪雨による河川の 氾濫により住宅地の浸水や道路が冠水する恐れがある場合、排水ポンプ場の排水を補 完するため、県内市町村の自治体では"初"となる「高性能排水ポンプ車」を導入し て、排水作業を行います。



徳島県の排水ポンプ車



浸水状況

☆ 八幡公民館耐震改修事業

工事着手

11,500千円

昭和49年建築の八幡公民館は指定避難所に指定されていますが、耐震診断の結果、補強が必要であることから、耐震工事を行うと同時に避難者の生活環境の改善のためにトイレ改修を行います。

★ 伊沢飲料水供給施設整備事業

新規事業

14,234千円

伊沢谷簡易水道施設は昭和55年4月の給水から約40年が経過し、ポンプ施設や 浄水施設などは老朽化が進んでいます。平成31年度からは、飲料水供給施設として 引き続き伊沢谷地区の住民に安定した水を供給するため、施設改修の実施設計を行い、 2021年度の改修完了を目指します。

年度内完成

★ 土成図書館・公民館整備事業

654,500千円

昭和49年に住民センターとして建設された土成図書館・土成中央公民館は45年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、平成30年度に改築に着手いたしました。2020年度に装いも新たに「文化・交流の拠点」として開館いたします。



イメージ図

Ⅱ 活力あふれるまちづくり

|☆ おもてなし公園整備事業

工事着手

59,508千円

故三木武夫元首相が居住していた土地に、お遍路さんが気兼ねなく立ち寄れるトイレやベンチを設けるとともに、地域住民と交流できる休憩所を有する公園として整備し、人と人が「出会い」、「ふれあい」、「つながる」場を提供いたします。



イメージ図

旧阿波市役所を全面改装し、運転免許更新に年間3万人が訪れる「運転免許更新センター」、「地域子育て総合支援拠点」、特産品の販売や観光イベントの情報発信を行う「店舗」等を配置し、にぎわいの拠点として新たにリフレッシュ・オープンいたします。



完成予想図

|☆ 阿波ベジ全国展開周知事業

新規事業

2, 260千円

健康志向が高まるなか、食とスポーツの融合による健康増進を図るため、徳島インディゴソックスに協力をいただき、県外試合の練習用Tシャツに阿波市ロゴをプリントするとともに、選手の方々に「阿波市産野菜(阿波ベジ)」リーフレットの配布や、野菜の日(8月31日)にJA夢市場などのイベントで「阿波ベジ」の周知活動を行っていただきます。

新規事業

7, 315千円

活力あふれるまちづくりに欠かせない雇用の確保に向け、進出を希望・検討する企業の特性に応じた「オーダーメイド型の企業誘致」を図るため、専門的見地から適地調査を行います。

また、遊休地や耕作放棄地の有効活用や、農村地域における就業機会を確保する「農村地域産業等導入促進実施計画」を策定し、企業進出を支援いたします。



企業立地ガイド



Ⅲ 子育て応援のまちづくり

新規事業

☆ 放課後健全育成事業(放課後児童クラブ改築事業)

42,755千円

御所放課後児童クラブを平成31年度に新築し、安全で安心な施設として適切な遊びの場と生活の場を提供いたします。

また、これまで伊沢小学校の空き教室や伊沢公民館を利用し、運営していた伊沢放課後児童クラブを充実するため、新築することとし、平成31年度は設計を行います。

本格整備

☆ 認定こども園整備事業

1,716,023千円

保育と教育を一体的に行い、子どもの健やかな成長を育む環境づくりのため、すべての幼稚園、保育所を「認定こども園」に移行することから、平成31年度は、本格的に整備を進めます。

公設の伊沢認定こども園は、新築工事に着手し、大俣認定こども園は事前準備として、大俣幼稚園の解体を行います。

また、民設移管した、柿原認定こども園、市場認定こども園、久勝認定こども園、林認定こども園(いずれも仮称)は、移管法人に対して、施設整備補助を行い、保育所・幼稚園解体や新築工事に着手いたします。



伊沢認定こども園 完成イメージ図

☆ 小中学校入学祝金支給事業

新規事業

5,700千円

児童・生徒が健やかに成長し、新たな門出をお祝いするため、小学校、中学校及び 特別支援学校の入学に際し、「入学祝金」を支給いたします。

<mark>|☆ 一条小学校校舎大規模改修事業</mark>

新規事業

217, 255千円

ー条小学校において、北校舎の経年劣化による雨漏りや建具の不具合を解消し、生徒に快適な学習環境を提供するため、平成31年度に大規模改修を行います。加えて、バリアフリー化を図るため、エレベーターを設置します。

, 新規事業

<mark>┢☆ 八幡小学校屋内運動場大規模改修事業</mark>

78,713千円

八幡小学校屋内運動場は、建築から30年余りが経過し、経年劣化による天井の雨漏りや外壁にクラックが発生しており、児童が快適に学校生活を送れるよう、大規模改修を行います。また、この施設は指定避難所でもあり、児童や地域住民が安全で、安心して利用できるようにトイレの洋式化や段差解消などを行います。

<mark>▶☆ 久勝小学校運動場夜間照明改築事業</mark>

新規事業

52.817千円

昭和51年建築の久勝小学校屋外運動場夜間照明は、経年劣化により照明器具やコンクリート柱に損傷がみられることから、新しいコンクリート柱とLED照明を設置し、利用者の安全と利便性の向上を図ります。

大綱別重点項目

やさしく健やかな阿波

医療や介護が必要な状況でも、住み慣れた地域で安心して暮らせるサポート体制づくりや、安心して子育てができる環境づくりを進めます。

1. 放課後児童健全育成事業 新規 再掲≪42,755千円≫

放課後の児童の健全育成のため、御所放課後児童クラブを改築するとともに、手狭になった伊沢放課後児童クラブを新築するため、設計を行います。

2. 子ども・子育て支援事業計画策定業務 新規 ≪2,310千円≫

平成26年度に策定した子ども・子育て支援事業計画の達成状況の確認と見直しを行い、本市に住むすべての子どもたちが元気に学び、育ち、成長することを目指します。

乳幼児等への予防接種に加え、平成30年度からはインフルエンザ予防接種の広域化が始まっています。また、大人の風しん対策が急がれているため、新たに抗体検査と予防接種事業に取り組みます。

4. あわっ子はぐくみ医療費助成事業 継続 ≪184,313千円≫

O歳から18歳に達する日以降の最初の3月31日までの子どもに係る医療費の一部を助成することで、疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減します。

安全・安心・快適な阿波

大規模自然災害への対応力を強化するため、周辺地域を含む広域的な防災体制づくりを進めます。また、水と緑の豊かな自然が息づくまちとして、快適な生活環境づくりを進めます。

1. 高性能排水ポンプ車整備事業 新規 再掲 ≪ 5 7, 0 0 0 千円≫

台風や集中豪雨による河川の氾濫により住宅地の浸水や道路が冠水する恐れがある場合に、排水作業を補完する排水ポンプ車を整備します。

2. 伊沢谷飲料水供給施設整備事業 新規 再掲≪14,234千円≫

伊沢谷簡易水道施設は老朽化が進んでおり、住民に安定した水を供給するため、 新たに飲料水供給施設を整備します。

3. 危険ブロック塀等安全対策支援事業 拡充 再掲≪20,000千円≫

地震発生時において地域住民の避難路を確保するため、避難道路沿道等に面した 危険性の高いブロック塀等の除却に加え、新たに建替え、改修を行った所有者に対 し、経費の一部を助成します。

4. 不法投棄監視カメラ設置事業

新規

≪774千円≫

土成町宮川内の国道318号線沿いの不法投棄が発見されたため、清掃活動を行い、環境パトロールの強化を行っており、不法投棄の未然防止と発生現場の確認のため、「監視カメラ」を設置します。

人が輝き合う阿波

明日の本市を担う子供たちの快適な教育環境づくりの推進と市民主体の文化・スポーツ活動を支援します。

1. 認定こども園整備事業 本格整備 再掲≪1,716,023千円≫

市内すべての保育所・幼稚園を「認定こども園」に移行することから、本格的な整備を行います。

公設の伊沢認定こども園は、新築工事に着手し、大俣認定こども園は事前準備として、大俣幼稚園の解体を行います。

民間移管する柿原認定こども園、市場認定こども園、久勝認定こども園、林認定 こども園(いずれも仮称)は、移管法人に対する施設整備補助を行い、保育所・幼 稚園解体や新築工事を行います。

2. 一条小学校校舎大規模改修事業 新規 再掲 ≪ 2 1 7, 2 5 5 千円≫

一条小学校は、北校舎の経年劣化による雨漏りや建具の不具合を解消し、生徒に 快適な学習環境を提供するため、大規模改修を行います。加えて、バリアフリー化 を図るため、エレベーターを設置します。

3. 土成図書館・公民館整備事業 年度内完成 再掲≪654,500千円≫

昭和49年に住民センターとして建設された土成図書館・土成中央公民館は、施設の老朽化が進んでいることから、改築に取り組んでいた「土成図書館・公民館」を「文化・交流の拠点」として開館いたします。

4. 小中学校入学祝金支給事業 新規 _{再掲≪5,700千円≫} (ふるさと応援事業)

児童・生徒が健やかに成長し、新たな門出をお祝いするため、小学校、中学校及び特別支援学校の入学に際し、入学祝金を支給します。

5. **防犯カメラ設置事業** 新規 再掲≪4,587千円≫ (ふるさと応援事業)

近年の防犯意識の高まりから、小学校の通学路に市内で初めて「防犯カメラ」を 10台設置し、地域の見守り活動の補完と撮影による犯罪抑止効果で登下校時の児 童の安全確保を図ります。

豊かで活力ある阿波

本市の基幹産業である農業生産基盤整備の推進や観光の振興を総合的に進めます。

1. おもてなし公園整備事業

工事着手

再掲 ≪59,508千円≫

故三木武夫元首相が居住していた土地に、お遍路さんが気兼ねなく立ち寄れるトイレやベンチを設けるとともに、地域住民と交流できる休憩所を有する公園として整備し、人と人が「出会い」、「ふれあい」、「つながる」場を提供いたします。

2. 企業誘致適地調査事業 (ふるさと応援事業)

新規

再掲≪7,315千円≫

雇用の確保に向け、進出を希望・検討する企業の特性に応じた「オーダーメイド型の企業誘致」を図るため、専門的見地から適地調査を行います。

また、遊休地や耕作放棄地の有効活用や、農村地域における就業機会を確保する「農村地域産業等導入促進実施計画」を策定し、企業進出を支援します。

3. 農業人材力強化総合支援事業

拡充

≪86,600千円≫

次世代を担う農業者に対し、就農のサポートをしていますが、新たに「新規就農者訪問指導相談員」を設置し、適切な助言と支援を行うことで、経営の確立と農業技術の向上を図り、新規就農者の定着を図ります。

4. がんばる企業応援事業 (ふるさと応援事業)

新規

≪4.000千円≫

市中小企業振興基本条例の制定に伴い、経営革新・販路開拓・人材確保等に積極的に取り組む中小企業に対し、経費の一部を助成します。

明日への基盤が整った阿波

生活基盤づくりとして、計画的な土地の利用や道路・公共交通・情報ネットワークの形成を図ります。

1. デマンド型乗合交通実証実験事業 実験開 再掲 ≪ 2 5, 3 5 5 千円≫

広大な市域にバスが運行する路線は限られており、交通弱者と言われる方などにとって、市内移動は非常に不便な状況となっています。市民の移動ニーズに合った公共交通の運行による公共交通空白地域を改善するため、平成31年4月から「デマンド型乗合交通」の実証実験運行を開始します。

2. 地方道整備事業

継続

≪82,994千円≫

市民生活に密着した市内の幹線道路整備を、国庫補助金や合併特例債等を有効活用しておこない、市民の利便性の向上を図ります。

市内の東西へのアクセス道である中央東西線、県道鳴門池田線と県道船戸切幡上板バイパス道路を結ぶ市道矢松田中線改良工事等を計画的に進めていきます。

共に生き、共につくる阿波

市民活動が活発なまちとしての特性を生かし、市民や市民団体、民間企業等の参 画・協働を積極的に促進します。

年度内完成 | 再掲≪566,379千円≫ 1. 旧阿波市役所利活用事業

旧阿波市役所を全面改装し、「運転免許更新センター」、「地域子育て総合支援 拠点」、特産品の販売や情報発信を行う「店舗」等を配置し、にぎわいの拠点とし て新たにリフレッシュ・オープンします。

2. 集会所集約化事業

新規

≪13.600千円≫

老朽化が進む吉野旭老人ルームと吉野旭教育集会所を公共施設個別管理計画に基 づき集約化するため、平成31年度に解体を行い、2020年度に2施設を統合し た集会所を建築します。

3. 阿波市元気なまちづくり活動支援事業 継続 ≪3.000千円≫

「あすに向かって人の花咲くやすらぎと感動の郷土・阿波市」を実現するため、 地域の発展・魅力向上や地域課題の解決につながる市民の方の自主的・主体的な活 動に対し、補助を行います。

行財政改革にかかる取り組み

行財政改革を強く推進し、行財政基盤の強化を図ります。

- 1. 図書館指定管理事業 ≪84.133千円≫ 継続 指定管理者制度による運営を行い、利用者へのサービス向上に努めます。
- 2. ケーブルネットワーク施設指定管理事業 |継続| ≪206,691千円≫ 市内全体に整備されたケーブルテレビの施設を指定管理者制度を導入して運営を 行い、サービスの向上と維持管理経費等の効率化を図っていきます。
- 3. 長寿祝い金支給事業の見直し ≪効果額 △29.385千円≫ 7.7歳以上の高齢者に長寿祝い金を支給していましたが、支給内容を見直した結 果、節目支給(77歳、88歳、99歳、100歳到達者、100歳以上)に変更 しました。

|新規|

総合戦略事業

総額 2,046,328千円

新しい人の流れづくり ~阿波市だからこそ住みたい「まちづくり」~

1. 地方移住推進事業 (ふるさと応援事業)

拡充

≪11,497千円≫

移住相談員の設置、県外で行う移住フェアへのブース出店、移住相談、空き家物件の案内等を行うことで定住・移住者の増加を目指します。また、新たに県との連携による東京圏内からの移住者に対し、就業支援と「移住支援補助金」による経済的支援を行います。

2. 雇用促進緊急助成事業

|継続|

≪3,000千円≫

若者の地元就職及びU・I・Jターンを促進するため、市内の業者や団体が行う 正規雇用に対し、助成金を交付します。

3. 阿波市定住促進リフォーム事業

継続

≪12,000千円≫

住環境の向上を目的とした住宅リフォームに対し、補助を行うことで定住人口の維持と転入促進を目指します。また、市内の施工業者の利用を要件とすることで地域経済の活性化を図ります。

地域における仕事づくり ~農業を軸とした「しごとづくり」~

1. 阿波ベジ全国展開周知事業 (ふるさと応援事業)

拡充

再掲≪2,260千円≫

健康志向が高まるなか、食とスポーツの融合による健康増進を図るため、徳島インディゴソックスに協力をいただき、県外試合の練習用Tシャツに阿波市ロゴをプリントするとともに、選手の方々に「阿波市産野菜(阿波ベジ)」リーフレットの配布や、野菜の日(8月31日)にJA夢市場などのイベントで阿波市産野菜の周知活動を行っていただきます。

2. 阿波市のいいもの販売促進・6次化推進連携事業 継続 (ふるさと応援事業) ≪6. 685千円≫

本市には魅力ある農畜産物や加工品が製造、販売されています。県や他市町と構成する「とくしま6次産業化推進連携協議会」に参加し、阿波市特産認証品をより効果的にPRし、販路開拓やブランド化の推進を図ります。

3. 徳島東部地域 DMO事業

継続

≪5.000千円≫

徳島県東部圏域15市町村と民間企業でイーストとくしま観光推進機構を立ち上げ、観光客誘致による観光関連産業の振興、交流人口拡大による地域活性化などの活動を行い、徳島東部地域の広いエリアの観光資源を活用した観光地域づくりを進めていきます。

結婚・出産・子育ての希望をかなえる ~「子育てするなら阿波市」の実現~

1. 認定こども園整備事業

継続

再掲≪1,716,023千円≫

市内すべての保育所・幼稚園を「認定こども園」に移行することから、本格的な整備を行います。

公設の伊沢認定こども園は、新築工事に着手し、大俣認定こども園は事前準備と して、大俣幼稚園の解体を行います。

民間移管する柿原認定こども園、市場認定こども園、久勝認定こども園、林認定 こども園(いずれも仮称)は、移管法人に対する施設整備補助を行い、保育所・幼 稚園解体や新築工事を行います。

2. 病児・病後児保育事業

継続

≪16,857千円≫

保護者の労働等の事由により、家庭での保育看護を受けることが困難となった1歳から小学校6年生までの子どもを、病気の回復期で、かつ、集団保育が困難な期間において医療機関で一時的に保育します。また、地域の保育所等への情報提供や巡回支援等も充実させることで、保護者の子育てと就労の両立を支援します。

3. 不妊・不育治療助成事業 (ふるさと応援事業)

拡充

≪5,000千円≫

「子どもがほしいのに授からない」状況にある夫婦に、不妊治療を受けた際の経済的負担を軽減するため、特定不妊治療に要する費用の一部を助成します。また、不育症検査及び治療に要する費用の一部も助成することにより、より安心して出産・子育てができる母子保育体制の充実を図ります。

4. あわっ子はぐくみ医療費助成事業 継続 再掲 184, 313千円≫

○歳から18歳に達する日以降の最初の3月31日までの子どもに係る医療費の一部を助成することで、疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減します。

活力ある暮らしやすい地域づくり ~安心・安全な誇れる「まちづくり」~

1. デマンド型乗合交通実証実験事業 継続 再掲 ≪ 2 5, 3 5 5 千円≫

広大な市域にバスが運行する路線は限られており、交通弱者と言われる方などに とって、市内移動は非常に不便な状況となっています。市民の移動ニーズに合った 公共交通の運行による公共交通空白地域を改善するため、平成31年4月から「デ マンド型乗合交通」の実証実験運行を開始します。

2. 地域で活躍するリーダー育成支援事業 継続 ≪1,338千円≫ (ふるさと応援事業)

地域の課題解決や活性化に向けた活動の中心を担うリーダーの育成を行います。 本年度は、第2期として市外のまちづくり団体などと交流を行い、ノウハウを学 ぶことや有機的なつながりを形成することで、コミュニティ活動の促進を図りま す。

3. 高性能排水ポンプ車整備事業 新規 再掲≪57.000千円≫

台風や集中豪雨による河川の氾濫により住宅地の浸水や道路が冠水する恐れがある場合に、排水作業を補完する排水ポンプ車を整備します。